

2019 参院選

性的少数者に関わる政策課題についてのアンケート・回答

お世話になっております。

先日お預かりしたアンケートにつき、以下の通り回答させていただきますので
ご確認下さい。

令和元年 7 月 17 日

自由民主党政務調査会

1、自治体で行われた性的少数者についての大規模調査について・回答

●他の自治体での調査の実施についての賛否はいかがでしょうか？

- ・賛成、調査は拡大すべきである。
- ・反対、調査は必要ない。
- ・よくわからない。

●上記回答についての詳細や調査結果に現れた人口比についての印象、ご意見をお書きください。

「誰もが異性を好きになるのが当たり前」「身体的に男性ならば、誰もが男性として生きるのが当たり前」という考え方を持っているとするならば、その認識が当てはまらない場合もあり、少数者の立場も当然のことながら尊重することが大事と言えます。仮に自分が異性を愛するからといっても、他の人も当然にそうであると思ひこむことは知識不足から生じた誤解であり、そうしたことが当事者の方々に辛い思いをさせることにも繋がり得ることを、意識しなければなりません。

わが党は、公約に掲げたように性的な多様性を受容する社会の実現を目指し、性的指向・性同一性に関する正しい理解の増進を目的とした議員立法の制定に取り組んでいます。

2、同性婚について

●同性同士で婚姻できることにたいする、賛否はいかがでしょうか？

- ・賛成
- ・反対
- ・どちらとも言えない

●内縁関係を同性同士でも認めることに関して、賛否はいかがでしょうか？

- ・賛成
- ・反対
- ・どちらとも言えない

その他、ご意見もあればお書きください。

「憲法 24 条は、婚姻は、両性の合意のみに基づいて成立すると定められており、現行憲法の下では、同性カップルに婚姻の成立を認めることは想定されておりません」というのが政府の立場であり、わが党も同様に考えています。

また、一部自治体が採用した「パートナーシップ制度」について、国民の性的指向・性同一性に対する理解の増進が前提であり、その是非を含めた慎重な検討が必要であるものと考えます。

自民党

3、現職議員による、性的少数者に対する無理解があると思われる発言について

●ご意見をお書きください

総務会で了承・決定した「わが党の考え方」を、党所属国会議員全員で共有すべく、LGBTに関する勉強会、研修会を開催しており、また、わが党は、公約に掲げたように性的な多様性を受容する社会の実現を目指し、性的指向・性同一性に関する正しい理解の増進を目的とした議員立法の制定に取り組んでいます。

当事者の方々が多くの困難に直面している大きな原因は、性的指向および性同一性の多様性に関する知識が、国民に広く普及していないことによると考えています。「病気である」「趣味や嗜好の問題である」といった誤った思い込みのために、結果として偏見や差別にあたる言動が蔓延し、当事者の方々が辛い思いをされているのではないのでしょうか。

従って私たちは、社会において性的指向および性同一性に関する知識の理解増進を図ることが、当事者の困難の解消に繋がると考えます。性的指向および性同一性の多様なあり方が誰にもお互いに自然に受け入れられる社会を目指すべきと考えます。

そもそも日常生活では、性的指向や性同一性を社会に対して敢えてカムアウトする必要は、実はあまりありません。「カムアウトできる社会を目指す」という政策目標は、その点で当事者の方々の背中を押すつもりでかえって一層の負担をかけかねない側面があります。

自分の素直な感情を誰かに口にした時に、その相手がまず偏見なく受け止めてくれるような社会が、当事者やご家族のみならず誰にとっても望ましい社会であるべきです。自分の性的指向や性同一性に関し、カムアウトという肩ひじ張った意識をもつ必要のない、自然に会話し、お互いを当たり前を受けとめることができる社会。私たちは、そうした「カムアウトする必要のない」社会を目指します。

わが党は、公約に掲げたように多様性を受容する社会の実現を目指し、性的指向・性同一性に関する正しい理解の増進を目的とした議員立法の制定に取り組んでいます。